

令和8年度 長崎市立丸尾中学校 学力向上プラン

令和8年度 丸尾中学校 学校経営方針(全体構造図) ★年間重点目標:『感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道』

- 学力向上(わかる授業と規律)・・・授業規律の凡事徹底 個に応じた丁寧な指導・準備連絡 協働的学びと達成感の積み重ね
- 規範意識・「感謝・優しさ」・・・心を通わせる「挨拶指導」「ありがとう」が響く集団づくり 組織的対応と個別の寄り添い
- 教師の姿勢・職場環境改善・・・信頼に応える教師の姿 校務分掌の機能回復と業務改善 地域・保護者との真摯な連携

R7到達目標 ○学力調査 県平均正答率との全教科平均の差 **-1.0 以上⇒0.62 達成** ○休日のメディアの使用時間が8時間以上の生徒の割合 **10%未満⇒2.4%達成**

長崎県「学びの習慣化メソッド」
『『学びに向かう力』を身に付けた子供の
具体的な姿』

- 「主」:主体的に学ぶ態度
・楽しみながら、学びを進めている等
- 「律」:自分を律する力
・時間を考えて行動する等
- 「客」:自分を客観的に把握する力
・学習内容の理解度を認識する
・学習内容や方法を見直し、修正する等
- 「関」:よりよい生活や人間関係をつく
ろうとする態度
・自分の夢や目標を意識しながら生活す
る等

校内研究 研究の柱

夢に向かって支え合い努力する生徒の育成
～視点を明確にした学習指導の工夫と生活指導を通して～

実践項目

- (1)長崎市協働型学力向上プロジェクト2班の研究テーマ「対話的
な学び」に沿った全職員によるオープン授業の実施(年9回)
- (2)代表職員による研究授業及び授業研究会の実施(年1回)
- (3)読解力・表現力の向上を目指した「読みトレ」の実践と事後指
導(週1回)
- (4)「学力調査結果分析シート」を活用した改善策の設定と実践
- (5)メディアの使用状況と家庭学習に関する生活調査(年5回)、メ
ディア講演会(年1回)、PTA との連携の強化(年2回)の実施

<生徒の実態>

- ・素直な生徒が多い。
- ・家庭におけるメディアの過度な使用による家庭
学習不足や睡眠不足等が影響し、授業に集中で
きない生徒が見られる。

<学力調査結果>

- ・一部の教科を除き、学力調査で県の平均正答率
を下回っているものの、正答率の平均は年を追
うごとに改善してきた。
(R6:-3.12⇒R7:-2.14⇒R8:0.62)
- ・思考力・判断力・表現力を問われる問題、特に「書
くこと」の領域において、自分の考えを明確にし
て表現することに課題がある。
- ・1.2年次の基礎的・基本的な既習事項が身につ
いていない生徒が多い。

R8到達目標 ○学力調査 県平均正答率との全教科平均の差 **1.0 以上** ○休日のメディアの使用時間が8時間以上の生徒の割合 **2%未満**